



令和5年
11月発行
電話・FAX
44-3410

隣保館長等研修会・ 職員実務担当者研修会

九月七日(木)・八日(金)に西予市教育保健センターで二日間の研修会が開催されました。七日の館長等研修会では「全国水平社百一年目からの部落解放運動について」と題して部落解放同盟中央本部書記長 赤井 隆史さんの講演を拝聴しました。冒頭、国連人権理事会の「ビジネスと人権」作業部会の声明について、メディアは某芸能事務所の性加害問題以外の女性や性的少数者、障がい者、労働者、部落問題にはほぼ触れなかったことに言及され、かなりセンセーショナルな問題ではあるが、これが日本の人権における部落問題の位置づけなのかと感じた。

現在、差別禁止の法制化はなく、鳥取ループ・示現舎の裁判で「差別されない権利侵害」は認められても、差別禁止法を制定しなければ、「表現の自由」や「政治活動の自由」により人権侵害を根本的に取り締まられず、今後もネット上で差別が拡散される状況が続くだろう。A-1を活用した事案など、その手口は高度で複雑化しており、一刻も早く差別禁止法の整備を求める。翌八日の実務担当者研修会では「その人らしく生きるために」介護から考える水平社宣言」と題して西条市玉原サービスタウン市民福祉課 広域隣保館活動相談員 近藤 誠さんを講師に講演を拝聴しました。水平社宣言の内容と介護の心構えはとても似ていると語り、単に病気を診るのではなく人を診ること、障がい者の人権を考えるなら人の理解が先で医学的な理解は後、介護施設に必要なのは隣保館のような地域住民に寄り添う施設だという意識、と述べられました。

自立支援はご自身の介護経験から、全てを行うのではなく、どうしてもやれないことをサッと支援する。相手の尊厳を守ることが重要で、高齢者介護・自立支援での差別とは、「可能性を認めないこと、つまりは生きること認めないこと」と述べられた。相手の気持ちを考えず一方的な思いやりを押し付け、期待した反応がなければ辛く当たるといった行為は、「自分は貴方にやってあげているのに」と言う、しているつもりと典型との説明に内心忸怩(じくじ)たるものがあつた。我が身を振り返り、両親・家族との接し方について猛省し、身につまされる講演でした。

※令和六年二月二十二日に当館の「第二回やさしい人権講座」講師として、近藤 誠さんにご登壇いただくことが決定しています。

全国隣保館職員 四国ブロック研修会

十月五日(木)・六日(金)に高知県南国市での第六十回全国隣保館職員四国ブロック研修会に参加しました。五日の記念講演「私と人権教育」部落問題について」で講師の夜須中学校 校長 三木 守さんは、実体験より「正しく学べてないから、決めつけて差別がうまれる。差別意識は誰もが持つていて、それに自ら気づくことでなくなる」と述べられました。教育の側面から差別の現実を語る先生と同様に学びを日々活かしたい。

翌六日、高知・徳島・愛媛の三市民エスポワール高知 代表山田 孝明さんは、「ひきこもりは、その人の今を見る、その人の今までも見る、その人のこれからを一緒に見る」それが人が人を支援することかもしれない!と述べられました。きっかけが見出せないとい



県の事例報告を受けて、熱のこもった意見交換が交わされました。記念講演「生活困窮者や引きこもりの方への支援」で高知県立大学社会福祉学部 教授 田中 きよむさんから、高知県はホームレス0人と報告しているが、実際は、地方でも貧困や生きづらさに心の拠り所を無くしてホームレスとなった人がおり、その存在自体が見過ごされサポートが出来ていないと報告された。

A wooden tray with six white ceramic dishes. The dishes include: a bowl of rice topped with seaweed and a hard-boiled egg; a bowl of miso soup with green beans, tomatoes, and mushrooms; a bowl of green tea; a bowl of white rice topped with seaweed; a bowl of miso soup with green beans, tomatoes, and mushrooms; and a bowl of white rice topped with seaweed.

南予地区人権・
同和教育研究協議会

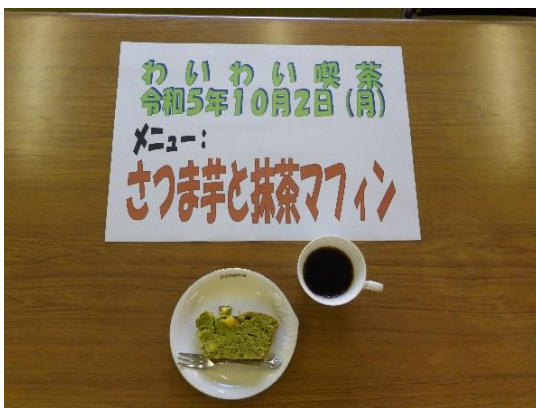
何処も活動継続のため参加状況の改善に努めており、松野町・西予市の先進事例を参考に当館の啓発もブラッシュアップを図ります。

第十五回 福祉館まつり

十一月十一日(土)は、当館メ
インイベント、福祉館まつりです。
バザーのチケット販売中です。
当日は、現金販売もしています。

実行委員、協力自治会、館利用団体など、みなさまのご支援があってこそ無事に関催ができます。いつも、本当にありがとうございます。当日、お越しいただいた方々に、何かしら得るものがあるように、楽しんでいただけるよう実行委員一同、努めてまいります。

行楽シーズンでイベントが目白押しですが、どうか、当館へお越しください。お待ちしております。



12月も お楽しみに!!

わい
わい
喫茶

毎月、第一月曜日午後一時から職員と館の利用者、地域の方々と交流が目的です。職員も毎月楽しみにお待ちしております。

ご近所・ご家族・ご友人、お誘いあわせの上、お越しください。

次回、十二月四日（月）開催！

第15回 福祉館まつり

私の人権もあなたの人権も守られる世界へ

★人権講演会

10月30日(土)午後7時～
場所：うちこ福祉館2階ホール
『いのち輝いて生きる』
講師：人権デイク・ルート
代表：オガナイザー 坂田おりさん

☆福祉館まつり当日

11月11日(土) 午前10時～午後2時

★開会 午前10時 ★イベント - 音楽チェック 午前10時～12時 - 和服・着物展覧 午前10時～午後1時30分 - 人権展覧、ポスター等作品展示 午前10時～午後2時 ★作品展示 午前10時～午後1時 - 人権展覧 ①～⑤迄 ①女子学生部、女子中学校、内子高等学校 ②市内各児童会、市内小中学校と支援センター ③市内各児童会、生活・保健事業、健康紹介 ④市民連帯 政治系（希望者） 200円 ⑤市民連帯 政治系（希望者） 100円 ★手作りの物販販売所 午前10時～午後2時 ・ウッキー手作り教室です	★バザール 午前10時～午後2時 <table border="0"> <tr> <td>・うどん</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>・おにぎり</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>・バナナパン</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td>・わらび餅</td> <td>50円</td> </tr> </table> ・中食定食 300円 ・フレンチ・ポルト 100円 ・焼肉大塚園子定食 150円 ・ポーク丼 200円 ・肉飯 200円 ★バザール一歩先の店が欲しそうです ★人権標語・ポスター表彰式 ・表彰状 ・モスマス（お買物） 午後2時～	・うどん	300円	・おにぎり	200円	・バナナパン	150円	・わらび餅	50円
・うどん	300円								
・おにぎり	200円								
・バナナパン	150円								
・わらび餅	50円								





主催 福祉館まつり実行委員会、個人内閣内子支部
協力 内子町教育文化センター
後援 内子町、内子町教育委員会
協賛 内子町、内子中学校、内子高等学校、吉岡南校

ぜひお越しください!

連絡先：うちこ福祉館
TEL：0899-44-3410